

通信・ITネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

顔認証技術の最新情報

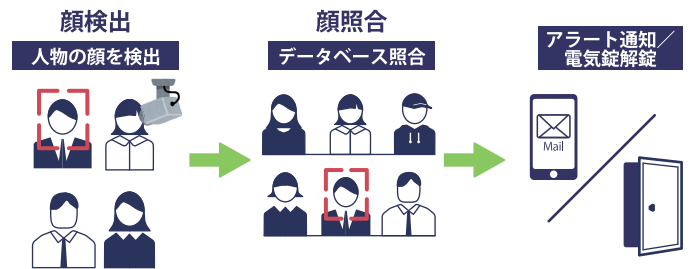
カメラでとらえた人物の顔をデータと照合する「顔認証システム」。様々なシステムと連携することが可能となり、今までにはなかった利用シーンで活用されることで今注目されています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで以上に「非接触」である面も注目されるようになってきている他、ウィズコロナに対応したシステムの使い方も可能になってきています。

● 顔認証技術の仕組み

顔認証技術には、大きく分けて「顔検出」と「顔照合」の2つの処理があります。

- 顔検出** 「顔がどこにあるか」
(顔の数、位置、大きさ、顔らしさ等々)を検出
- 顔照合** 検出された顔が「誰であるか」(特徴の比較、DB中に同じ顔があるか、合致度に応じた並び替え等々)を判定



≫ 特徴 & 利用シーン

● 生体認証で変わる社会

生体認証とは個人を特定する身体情報、「虹彩、静脈、指紋、耳、声、顔」等を利用した認証技術のことです。生体認証は、物理的な鍵を「わたさず」「もたず」「わすれない」。瞬時の認証で「またさない」。何も持たずに自分を認めてもらえる世界です。

● 顔認証の特徴

- ① 自然な認証 顔は人間が相手を判別する身近な認証手段であり、利用者の心理的負担が少ない。
- ② 非接触・非拘束 特別なユーザ操作を強いることなく、利便性に優れた認証。
- ③ 高い不正抑止効果 「顔画像ログ」を残すなどで管理者が目視確認することも可能。
- ④ 専用装置が不要 一般的なIPカメラも利用可能。

● 利用シーン

介護等の見守りに <p>施設利用者の外出を職員にお知らせ</p>	顧客サービス向上に <p>リピーター顧客の来店時にお知らせし、迅速なサービス提供を実現</p>
入退室管理に <p>なりすましによる不正入室を防ぐ対策</p>	アクセシビリティ向上に <p>ハンズフリー認証で入退室が可能</p>

≫ 最新モデル

● 顔認証エンジン強化でマスク対応可能

マスク対応

顔認証エンジン → 強化 → 新アルゴリズム対応により精度向上

マスク顔の挙動 → 発見 & 認証 ※人数・用途の制限あり

発見できず

● サーマルカメラとの連携対応可能

サーマル対応 例) 37.5℃以下の場合に解錠する

サーマルカメラ & 顔認証

36℃ OK → Open!

38℃ 36℃ NG →